

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の人々との交流がコロナ禍できていない。介護度の高い入居者様が参加をする機会が少ない。	地域のイベントや行事に参加を行い、地域交流を活発に行っていく。	運営推進会議で地域の行事の情報を聞き、入居者様が参加できるように計画を行う。	6ヶ月
2	6	身体拘束について、委員会として活動を行っているが、グループホームの職員間での検討をする機会が少ない。	グループホームの職員間で身体拘束について会議を行う機会を作り、気になる言動を議事録に残し、情報を積み重ねていく。	月1回行っているフロア会議の中に身体拘束についての会議を行う機会を作る。議事録に残す事で、振り返りを行い、身体拘束を行わない取り組みを行っていく。	6ヶ月
3	26	課題整理総括表で抽出した問題点が計画書のニーズへいかされておらず、個別性や具体性のサービス内容になっていない部分がある。BPSDのモニタリングが個別にできていない。	計画書の課題、サービス内容などを見直しを行い、個別性のある計画書のしていく。個別にモニタリングを行い、入居者様の情報を集める。	計画書の見直しを行い、個別性のある計画書を作成していく。入居者様の情報をセンター方式などを使用して収集を行い、対応方法を検討していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。